| 令和２年度<br>光鯱会本部　第６回　幹事会議事録 | 日時 | 令和２年　10月　6日（火）18:30～ |
|---|---|---|
| | 場所 | Ｗｅｂ開催 |
| | 記録者 | 近藤 |
| 出席者：山川、羽津本、近藤、内藤、河辺、田中（康）、浅野、夏目、井上、田中（俊）、佐藤、魚住、金子、伊藤、犬飼、山﨑、鈴木、中野、水野、木下、松本(浩)、松本（健） | | |
| 欠席者：高村、渡辺、井戸田、成田、鏡味、中村、林（学生幹事） | | |

## Ⅰ　議題

### １．秋の見学会について

＊「令和２年度　秋の見学会　計画書（案）」に基づいて確認した。

・会場は先着 21 名をメインの 9 階とし、残りは 12 階で Web 映像配信とする。セッティングは田中さんに依頼。TV 塔入場チケットについては、見学者分を事前に、参加幹事分は当日現地購入し会場で配布する。

・TV 塔は当日人も多く、全員同時に上るのは無理なので、各自自由に上って頂き自然解散とする。（事前確認に行った際も EV は 10 人規制中にて、集団行動は無理と判断）

・若山常務は欠席となり、手土産の準備も不要。

・見学会参加予定者は現状 40 名、参加幹事は山川、内藤、河辺、井上、金子、犬飼、佐藤、田中の８名

・当日の参加幹事の役割分担に余裕が無いため、司会と挨拶は山川幹事長が対応する。井上幹事は会場担当へ変更を依頼、12 階は 2 名で対応、入口(裏口)はカードキーによるセキュリティーがあるため１人常時配置が必要、当初記録撮影の予定だった山川幹事長が司会対応となったため、佐藤先生に写真対応を依頼。

・講演内容と時間の割り振りについては、山川幹事長による挨拶（5 分程度）の後、中薗様にイントロ的（10 分程度）に名古屋市の立場から今回のパーク PFI などについてお話しして頂く。その後、伊藤先生による PPT（配布説明資料（30 分程度準備）とは別に）を用いての講演１、その後杉浦氏、大野氏にて TV 塔の免振 RN についての講演２（50 分程度）を開催予定。

・講演者の紹介時に、講演内容を紹介するので講演テーマを山川幹事長へ事前にお伝えする。

・伊藤先生の講演配布資料は、「(案)」を消し、日付を 10 月 31 日に変更したものを正とする。

・TV 塔の免振 RN 講演２も、配布資料が有った方が良いので、講演者のお二人に依頼する。

・TV 塔の下に集まっての補足説明の際は、近くにカフェも有り、拡声器等は使用できないため、東側の 2 本の独立柱のどちらか付近で、説明者に近寄って頂き、肉声での説明とする。

・見学参加者の会場への入口は裏口となるが、見学者への案内にその旨の記載が無かったと思うので、張り紙等して誘導にて対応する。

・8 名の参加幹事の役割分担は、田中(康)幹事がセキュリティー・会場設営・PC 関係、金子幹事は９階受付、井上幹事と犬飼幹事は建物１階裏口、12 階は井上幹事と田中(俊)幹事に依頼。名簿は夏目先生から佐藤先生が引き継ぎ当日持参する。

・準備品は、アルコール消毒１個、ミネラル水の小さいペットボトル４８本、フェースシールド１０個、「光鯱会」と書かれた、首からぶら下げるネームホルダー（参加者は黄色で参加幹事は別色で合計５０枚）を準備し、回収はしない。

・当日の欠席者の連絡窓口は田中幹事とする（携帯番号が案内に記載済み）。

２．OG/OB 交流会について

・名工大のコロナ禍対応についての現況を各先生に確認したところ、講義再開へ向け対面を増やす準備を進めているが、9 月 15 日付の大学の方針を解釈すると、学内イベントは控える、就職説明会も控える、外部者が入校してのイベントは執行部の許可が必要、特定少数の対面は可、不特定多数の対面は不可、この様な状況との事。

・上記を鑑み、学内での開催を前提とした交流会は不可と判断すると、学生の要望を踏まえて交流会の要否を判断することとなるが、学生の交流会に対するニーズはいかがか。

←学生にも会えていない状況なので、リアクションが確認出来ない。また、交流会に労力をかけセッティングしても蓋を開けたら参加者がおらず、OB/OG の方に大変失礼な事態にもなりかねない。過去を例に取ると、参加者が少ない時、先生からの声掛けを依頼し、学生を借り出してもらい穴埋めもしていたが、今は学生が大学に来ていないので、その様な対応も難しい。

・リアルタイムではなく、オンデマンド形式にして、学生が好きな時間に見に行く形式を取ると、OB/OG の方に時間的にも大変な負担を強いる事となる。

・MOODLE（ムードゥル）という、建築デザイン分野の有益情報を提供出来るプラットフォームは構築出来ているが、アクセス権は名工大学生他、アクセス権を登録した人のみである。

・次回の幹事会で代替案の検討をする。

３．光鯱会だより第２９号について

＊「光鯱会だより２９号　構成について」に基づいて確認した。

・資料に記載の「恩師だより分野長挨拶北川先生」は、「福知先生」であり、誤記を訂正。

・今回は OB/OG 交流会報告の欄がブランクになる懸念が有る。

・昨年（第２７号）は、小野会長よる寄付に関するお礼の記載が有った。

・昨年（第２７号）の「Ⅲ卒業生は今」の本部の寄稿依頼は、河辺先生からのご紹介で TV 塔改修工事の工事所長をされていた竹中工務店の徳野氏（S５７年卒）に依頼した。今回は久屋のパーク PFI のプレゼンをされた名古屋市役所勤務の横井様に、工業会の寄稿依頼の際に同期の成田幹事から寄稿を依頼済みであることから、光鯱会だよりについても重ねて依頼する。

・12 月発行へ向け、担当者から各自依頼をかけて頂き、11 月 6 日を原稿締め切り日とし、12 月の幹事会で最終確認をすればスケジュールに乗るので、それを決定事項として動いて頂きたい。

・11 月の幹事会で、OB/OG 交流会の欄をどうするかを検討する。

・「大学は今」は例年「夏号」に載せるが、OB/OG 交流会の変わりに、コロナ禍での設計製図授業のやり方等大学での対応を掲載する事とし、先生に依頼をして進めて頂く。

Ⅱ　その他

１．会費納入状況について

＊別紙資料に基づいて確認した。

・今年度は現時点で、例年とほぼ同じ状況で 13.4%の納入率（去年は 18.7%）

・寄付者は 100 名で 892,000 円（去年は 110 万程度）

・再請求を 1,766 名に送る予定だが、経費は 15 万程度かかる。

・作業には 2 週間程度かかる。ご手数をかけますが今迄同様、先生・学生他有志の皆さんにて対応をお願いする。

・再請求により、160 人×3 千円＝48 万円程度追加徴収出来るものとし、それに要する経費の総額を 18 万円と仮定すると、約 30 万の増収が見込める事になる。

・例年、本部からの声掛けや徴収もしていたが、今年はコロナ禍で集まりや飲み会が無いため、その様な場での徴収は出来ていない状況。

・郵便局へ 1,700 通を何回かに分けて持参し、そこで郵便別納の押印をしているが、それが大変手間であり、何か改善案は無いか。

・別納は押印ではなく印刷でも可能である。詳細は日本郵便関係のインターネットに掲載があり、スタンプのひな型もアプリ等から取り簡単に対応できる旨、浅野さんより情報提供有り。

２．その他

・名古屋工業会館が、40 年の歴史に幕を閉じ鴻池組にて解体となった。

2020 年 11 月～2021 年 2 月に解体工事をし、解体後は有料駐車場となる旨、皆さんにお知らせする。

３．次回幹事会議題内容について

・第７回幹事会　令和２年 11 月 10 日（火）18:30～　　場所：Web 開催

（内容）・OB/OG 交流会の開催について

・光鯱会だより第２９号準備

以上　文中敬称略